祭事暦

10月１日　午前８時30分
月次祭

10月17日　午前11時
神嘗奉祝祭

10月20日　午前８時30分
月次祭

相模

発行所
寒川神社社務所
〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話　代表0467(75)0004
編集責任者　水谷智賢
印刷所　㈱さんこうどう

鎮守の森

伊勢の神宮におきましては、内宮では十月二日外宮は十月五日に、平成十七年五月「山口祭」から始まった第六十二回式年遷宮の、最大の重儀である「遷御の儀」が執り行われる▼伝統文化を継承するにあたり、神社の存在はとても大きく、その地域の中心となり古来より伝わる祭事や伝統芸能が連綿と継承されている。寒川神社に於いても様々な特殊神事が、古式に則り斎行されている。しかし、神社だけでは「祭」は成り立たない。浜降祭の神輿渡御や例祭の神賑行事など、地元の総代や氏子の皆様のご協力を得てはじめて成り立つのである▼古代より日本人は、共同体を中心として生活をし、その基盤であった稲作農業と「祭」は密接なつながりがある米は神様から授かった神聖なものと扱い、これを大切に受け継いできた。五穀豊穣の祈念と感謝が「祭」の原点である。現在、生活の基盤が変化しているが日本人の生活習慣のなかにしっかりと「祭」は根付いており、連綿と続く歴史を感じさせ、時代が変わっても日本人の祈りの心は受け継がれていくことであろう▼歴史や伝統のあるものは、その時代に合わせ執り行われ、幾多の困難を乗り越え先人達は後世に伝統文化を継承してきたのである。時代が変化しても根本は不変でなければならないが、その時代に合わせ臨機応変に対応することも重要である▼およそ千三百年前より受け継がれてきた式年遷宮を通し伝統文化は我々日本人が長い年月をかけ積み重ねた叡智であり、これらを継承し、先人たちが培った日本人の心をしっかりと後世に守り伝えることが我々の使命である。

（坂本　晋一）

遷宮で　結ぶ人の輪　心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

例祭盛大に斎行

九月十九日・二十日の両日、雲一つ無い秋晴れのもと、寒川大明神の御神恩への感謝と更なる繁栄を祈る、一年に一度の例祭が、今年も盛大且つ厳粛に斎行されました。

十九日は、午前十時に商工祈願祭並献灯奉告祭が執り行われ、事業を営まれている崇敬者の皆様の、今後益々の商売繁盛が祈願されました。

午後一時からは例祭宵宮祭、午後二時には㈳大日本弓馬会の会員により流鏑馬神事が奉納され、射手が的を射ぬく度に大きな歓声と拍手が起きていました。

翌二十日の午前十時には例祭が斎行され神社本庁よりの幣帛を奉り、責任役員・氏子総代をはじめ崇敬者が多数参列されました。

また本年は、神宮式年遷宮を奉祝し、献饌の儀に古代歌謡である催馬楽の「伊勢の海」が特別に奉奏されました。

境内では献花・献句・盆栽展・水石と美石展・献茶・奉納演芸・武道大会などの神賑行事や、万灯パレード・神輿渡御も行われ、大勢の参拝者で賑わい、例祭をお祝い致しました。

▶浦安の舞

▶献饌（「伊勢の海」奉奏）

▶献灯提灯

▶奉納演芸

▲流鏑馬神事

▲万灯パレード

秋分の日 ご社頭賑わう

寒川神社は、春分・秋分の日には太陽が御本殿の真上を通り、富士山の頂上の方向に沈む御来光の道上にあり、また、夏至・冬至の日にも御本殿の上を通るという、非常に〝気〟の強い場所に建立されています

その事が、マスメディアにて取り上げられ、紹介されたところ、本年の秋分の日は、例年になく大勢の方々がお参りされました。

ご参拝の方々には、大神様の益々のご加護を戴かれます事祈念申し上げます

▲神馬舎にも長い行列ができた

渋谷禰宜 神職身分二級上に昇級

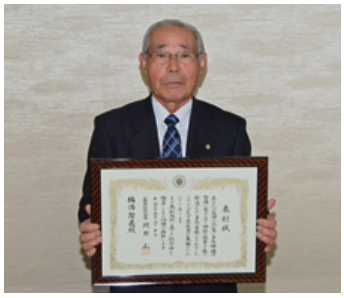
この度、平成二十五年九月十日付にて渋谷幹寛禰宜が神職身分二級上に昇級されました。

渋谷禰宜は昭和六十一年に当神社に転任されて以来神明奉仕につとめられ多大なる貢献をされてまいりました。

今後も御神威の更なる発揚のため、益々の活躍が期待されます。

横溝役員 神社功労者表彰を受彰

去る九月十日、愛媛県民文化会館に於いて第四十九回全国神社総代会大会が開催されました。式典上、全国の各神社にて特別に功績があった総代六十八名に神社功労賞が授与され、責任役員の横溝隆義氏が、表彰規則にある「多年に亘り神社の経営並びに神徳の宣揚に協力し、氏子崇敬者の教化に貢献し、その功績顕著な者」として、表彰の栄に浴されました。



全総代会開催

日頃より年間祭事や教化活動等神社の護持運営にご尽力頂く、寒川町内より選出された総代によって組織される「全総代会」が、九月一日、参集殿に於いて開催されました。

当日は、横溝隆義責任役員を議長に選出、議事がすすめられ、六月以降の祭事や行事、教化活動、事業等についての社務報告がなされ、次に平成二十四年度一般会計、特別会計の決算や寒川神社境内整備特別会計の報告と例祭斎行などの件が、出席された皆様に対し詳細に説明されました。

寒川神社商工奉賛会 第四十回年次総会開催

商工奉賛会では九月十九日、商工祈願祭にて生業繁栄が祈願された後、年次総会が開催され平成二十五年度事業計画案・予算案が審議され可決されました。

また、役員改選がなされ会長に㈱藤又の藤沢昇氏・副会長に㈲寒川建材の西山正彦氏・監事に東木材㈱の東泰一氏が新たに選任され前会長の下里勝二氏は相談役に就任された事が報告されました。

▲ 林家楽一　氏の紙切り

終了後は、林家楽一氏春風亭柳之助氏により記念高座が開かれ、鋏一本でくりだされる紙切りの熟練の技に続き、巧みな話術に寄席に訪れた方々は魅了され終始笑い一色に染まり盛会のうちに閉会致しました

▲ 春風亭柳之助　氏

❖末社御祖神社例祭並合祀祭斎行

秋分の日である九月二十三日、末社御祖神社の例祭並合祀祭がしめやかに斎行され、新たに三柱の御霊が合祀され鎮まりました。

当日は御祖講の講員多数の方々が参列、拝礼されました。本年から御霊和めの舞として「榊の舞」が御神前で奉奏され、御霊をお慰め申し上げ、感謝の念が捧げられました。

❖十月十五日　午前十一時より　人形感謝祭斎行のご案内

人形奉斎殿では、納め頂いた人形を日々お祓いし毎月一日には清祓式を執行しております。十月十五日が「人形の日」であることに因み、第二回人形感謝祭を午前十一時より斎行致します。

人形は年間を通じお納め頂けますが、是非この機会に御参拝下さいますようご案内申し上げます。

▲ 昨年の人形感謝祭

祭式研修会行われる

神奈川県神社庁相模湘南支部主催の祭式研修会が八月二十九日と九月五日の両日に亘り開催されました

神奈川県祭式講師小野和伸先生の懇切丁寧なご指導のもと、午前中は基本動作を見直し、より美しい姿にて祭祀が行えるよう再確認致しました。

また、午後からは大祭式の際、神職が着る、衣冠・単の着装を実技を交えながら講義頂き、衣紋者の動きから、一人での着装方法まで詳しくご教授頂きました

馬場西側通路拡幅工事竣工

先月より西側の駐車場では、売店兼レストランの新築と駐車スペースの拡張工事が実施されておりますが参拝される方の利便性と安全を鑑みて馬場西側通路の拡幅を行い、その竣工の清祓式が九月十七日に執行されました。

今月中には横断歩道も設置され、より安全に道路を通行できるようになります

第六十七回　奉灯句会開催

寒川俳壇主催による奉灯句会が去る九月一日盛大に開催されました

兼題「夏座敷」席題「秋の水」の二題にて句が詠まれ、厳正なる選句の結果、最高得点者には当神社より一之宮賞が授与されました。

また、例祭期間中はこの句会で詠まれた句が境内に掲げられました

一之宮賞

命名の　墨濃く句ふ　夏座敷

茅ケ崎　清水　純一

神道青年全国協議会主催
福島県浪江町神社復興支援活動に参加

神道青年全国協議会主催による「福島県双葉郡浪江町本務神社復興支援活動」が、去る九月四・五日に行われ、当神社の神道青年会員二名も参加致しました。

震災後原発事故の影響で二年半手つかずであった神社は、津波の際の土砂が参道を覆い隠し、境内も雑草が生い茂っている状況でしたが、二日間に亘る作業によって、気持良く参拝できるようになりました。

浪江町は、未だ流された船や車が放置されており、ほぼ震災直後のような状況で、我々以外ほとんど人の姿は見えず、更なる支援が必要と感じました。

▲参道まで雑草が生い茂る浪江神社

▲清掃奉仕後の浪江神社

第四十六回 菊花・写真展のご案内

本年で四十六回を迎える菊花・写真展が十一月十日から二十四日にかけて開催されます。

近隣の菊花会より出品される絢爛豪華な菊花約三五〇点、また寒川神社の四季折々の様子を写した写真約一五〇点が境内にて展示されます。

▶平成二十四年宮司賞受賞作品

写真展作品募集

□開催期間　平成二十五年十一月十日～二十四日
□題　材　寒川神社に関係のある未発表の作品
□サイズ　四ツ切・六ツ切（ワイド可）
□出品点数　一人　五点以内
□応募期間　平成二十五年十月一日～三十一日
□入賞発表　平成二十五年十一月上旬（入賞者へ直接通知）
□作品の裏に住所・氏名・電話番号画題・撮影年月日を明記のこと
□問い合せ　寒川神社　写真展係　☎〇四六七（七五）〇〇〇四

神前結婚式ご案内会

11月24日（日）10：00～16：00

10：00 ～ 衣裳美容体験
◇◆記念写真プレゼント◆◇
13：00 ～ 挙式セミナー
13：20 ～ 奉告の儀
◇◆記念写真プレゼント◆◇
14：00 ～ 模擬挙式

◆各種相談コーナー
◆人力車試乗体験

※都合により催し内容が変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。

祝　期間 10/1(火)～11/30(土)

七歳プラン　衣裳、着付、ヘアメイク、写真撮影（1ポーズ）　55,000円（税込）

五歳プラン　衣裳、着付、写真撮影（1ポーズ）　40,000円（税込）

三歳プラン　衣裳、着付、ヘアメイク、写真撮影（1ポーズ）　37,000円（税込）

お食事のご予約も承ります
（プランご利用のお客様室料は無料）

※衣裳レンタル　1泊2日
※プラン以外の物をお選び頂いた場合は差額が発生致します。

寒川神社参集殿　ご予約・お問い合わせは　0467-75-5555

❖青少年活動だより

BS寒川第二団

第十六回日本ジャンボリー参加

七月三十一日から八月八日にかけ、四年に一度全国のスカウトが集って行われるボーイスカウト最大のキャンプ大会である第十六回日本ジャンボリーが山口県山口市阿知須きらら浜で開催され、当寒川第二団より三名のスカウトと、二名の指導者が参加しました。

期間中は自炊及びテントによる野営生活をし、日中は会場の外に出て山口の歴史や文化を知る場外プログラム、また環境、文化、自然、科学をテーマとしたブースを回って学ぶ選択プログラム、そして夜には全国のボーイスカウトと親睦を深める交流会を実施。大会中日には参加者全員が集うアリーナショーで皇太子殿下安倍総理大臣がお越しになり、激励のお言葉を賜りました。

▲ジャンボリー開会式

▲夜 他県スカウトとの交流会

▶キャンプサイトにて

八泊九日の長期キャンプでしたが、その長さを感じさせないほど充実した大会で、スカウトにとって普段では決して味わうことのできない貴重な経験となりました。

再来年の平成二十七年には同じ会場で、世界のスカウトが集う第二十三回世界スカウトジャンボリーが開催されます。多くの国々のスカウト達と、友情の輪が広がることを期待します

寒川神社少年館

―例祭に作品を奉納―

少年館では、寒川大明神様の神恩に対する感謝の気持ちをお伝えすると共に健やかな成長を願い、館生たちが美術や書道の講座の中で一生懸命に作成した作品を、例祭に奉納致しました

飾られた作品はどれも力作ぞろいで、子供らしい感性があふれており、例祭に参列された方々も足をとめ見入っておられました。

GS神奈川県第四十五団

―寒川町消防署にて救急法講習―

去る九月十四日、救急法を学びに寒川町消防署に行って来ました。三角巾を使った応急手当や人形を使っての心肺蘇生法、AEDの使い方など、身近な怪我の対処から緊急時にどうしたら良いかなど身になる時間が過ごせました。

後半は、救急車と消防車の見学に防護服も着させてもらいスカウト達のテンションも上昇です。

日々の生活では薄れがちな「防災」の意識を高めそなえる心を持てた活動となりました。

健康手帳 442

最近想う医学の進歩

宗教法人 寒川神社 寒川病院
医局長　木勢　佳史

時の過ぎ行くのは早いもので、気がついたら医師になって、はや30年近くになってしまいました。医師になった頃は、一時はほとんど致死的だった結核や天然痘などの感染症を克服したという時代でした。

フランスのパスツールドイツのコッホから始まりあのジメジメしたイメージしかないカビから抽出されたペニシリンがアメリカより戦後大量にもたらされ医学は全く西洋医学中心になりました。しかし、今では日本の方も高水準の医学レベルになり、むしろ追い抜いてしまったかもしれません。

その頃、これからは癌の治療だ、癌の撲滅はこの調子だと20年くらいで完遂するだろうとか言われていましたが、これは、いまだに実現していません。では癌治療の分野での進歩は僅かかというと、画像検査が非常に発展し聴診、視診、触診のみの時代と比べて早期発見が可能になりましたし治療薬においても全部の細胞を攻撃する薬から、癌にのみに作用する薬が開発されました。

以前は、死亡原因の一つに胃潰瘍や十二指腸潰瘍なんていうのもありましたアルコールやたばこ、ストレス、胃酸分泌過多が原因と言われ、胃薬で効かない難治性の潰瘍や穿孔潰瘍は胃の大部分を切除していたのを思い出します。

そのうち、胃酸の分泌を非常に減らすH2ブロッカーという薬が出来て、胃の手術を受ける患者さんは減りました。

手術も胃を摘出するのではなく、穿孔した場合のみその穴を塞ぐという方法になりました。その後もさらに強力な胃酸分泌抑制薬が出来ました。

しかし、それでもなかなか治らない胃潰瘍や十二指腸潰瘍患者さんの胃に高頻度にピロリ菌が検出されその除菌で難治性だった胃潰瘍や十二指腸潰瘍がよくなるなんて、以前は誰が想像したでしょう。しかもピロリの除菌により、以前は胃の切除がよいとされていた胃MALTリンパ腫や脾臓切除が適当とされていた特発性血小板減少性紫斑病も軽快することがあることが判って来ました。

また胃癌や大腸癌も非常に早期の状態で発見されれば、内視鏡で摘出したり小範囲の切除で充分と言われるようになりました。早期で発見されれば、癌も以前のようには怖くない病気になりつつあるのです。長く健康を維持するために、定期的な健康診断をお薦めします。

人事

◆新採用
＜さむかわ訪問看護ステーション＞
看護師　石井　美佐
さむかわ訪問看護ステーション
勤務を命ずる
平成二十五年十月一日

◆退　職
＜参集殿＞
中村　律子
規則に依り定年退職とする
平成二十五年九月三十日

＜寒川病院＞
看護師　齋藤　睦子
規則に依り定年退職とする
平成二十五年九月三十日
看護師　権上　香織
看護師　岡島　菜美
社会福祉士　小沼　ふみ
願いに依り職を免ずる
平成二十五年九月三十日
＜神恵苑＞
介護福祉士　齋藤　真衣
願いに依り職を免ずる
平成二十五年九月三十日

神嶽山神苑　行事案内

神楽舞と雅楽の奉奏

◇十月　六日(日)・十三日(日)
十四日(月)※祝日により開苑
二十日(日)・二十七日(日)
◇午前十一時と午後二時より
※十四日と二十日は午後のみ
約三十分間（雨天時は中止）
◎入苑券を持参の上ご来苑下さい

医療講演会のご案内

とき　十月十八日(金)　午後二時～三時
ところ　寒川神社 参集殿 ※入場無料（申込不要）
内容　「人は〝おなか〟から年を取る?!
～理学療法士から見た、腰が痛くなるわけ～」
講師　リハビリテーション科主任　相原　忠洋
問合せ　電話 〇四六七（七五）六六八〇
寒川病院

多川俳壇

唐辛子日のある限り今日も干す　飛石　槿花
秋扇たたみ祝詞をのべらるる　根岸　君子
秋暑し井の辺に置きし空の魚籠（びく）　相原　白露
通り雨過ぎたる後の虫時雨　竹村真砂美
新涼の水に寝かせる新砥石　金指　月光
もう何も言わず応へず月を見る　岩田美代子
休暇果つ手垢のつきし虫図鑑　金子　つぢ
石投げて谷の深さの涼新た　露木てる子
閼伽（あか）桶のずらりと並ぶ秋の蝉　山本　朝子
三陸の光を放つ初秋刀魚　菅沼うめの
母百歳生きて伝える終戦日　原野　楽天
霧を来て霧に消えゆく調教馬　芹沢　徳光
秋出水局地の友を見舞いけり　三輪　恭子
この先は熊が出るよと霧深き　伊藤　公一
門燈に浮かびし萩の花白く　浦野　房子
干し上げて黒味おびたる唐辛子　菅沼　保幸
太陽が白くぽっかり霧の中　四ッ車梢月
厨の灯消し蟀（こおろぎ）の闇覗く　岡田風呂釜
人を待つかに新涼のカフェテラス　市本　益子
塀のなき家を囲みて秋桜　倉谷　節子
虫時雨姫と書かれし外厠　松本美智子
猫じゃらし作句に心ゆれ動く　松村　信篤
去ぬ燕バスターミナル一廻り　宮入　つる
信号で止まれば左右虫の声　皆川志んご

十月　手水舎奉掲

御製

白石を　踏み進みゆく　我が前に
光に映えて　新宮は立つ

相模詠草

若竹や雨に打たれて撓垂れる雫はらいてはね返るなり　浜田　寿子
夕暮れの川辺の里に蛍舞い静かな町の静かなにぎわい　山口　幸子
スペインの歌と踊りのディナーショー味覚満喫の熱海のホテル　山根喜美代
幹太き庭の梅の木どの枝もびっしり実をつけ今年豊作　亀山　文子
花模様のカップに紅茶いただけば少し鎮まる耳なりの音　安藤　慧
柔らかな光を浴びていちはつの花は気ままに風に吹かるる　川島惠美子
庭めぐり足の運動する吾に小鳥も蝶も元気をくれる　三留とく子
持ち帰ることも出来ない落葉松の新緑の森ふかぶかと吸ふ　堀江　照子
初めての吾の歌載りし「相模」見て声かけ呉し友ありうれし　宮治友美枝
春先に移植せしバラ濃いピンク咲きて漂う香をよろこべり　徳江　道子
欅大樹の梢に大き寄生（ほよ）木いくつ有りにし母の生家思わる　宇田川時子
猫の九木の上めがけゆっくりとすずめとりたくがんばる姿　土屋トミ子
待ちくるる人の笑顔に逢いたくて迷い払いのけ行くボランティア　岡元　芳子
「鬼灯の一つ一つに友の顔」　ホームに暮らす姉の句に詠む　杉本　照世

表紙写真説明

心を合わせて、神に感謝の祈りを捧げる座後列拝

編集後記

稔りの秋。何か美味しい物を食べたくなる季節であるが

息子に「ママの作る物が一番美味しい」と言われた。確かに心籠った素朴な料理は一番のごちそうではあるが…

(宮)